



“新しい一歩を踏み出してほしい”

晴れた日に感じる日差しが、春を感じる季節となりました。今年度最後の月を迎え、子どもたちの成長をあらためて感じる季節です。新年度の準備も始まり、子どもたちは進級・入学への期待に胸を膨らませ過ぎていますが、子どもたちの期待が大きな意欲につながるよう準備を進めております。

3月21日(土)に卒園式を控え、1年間一番上のお兄さんお姉さんとして頑張ってくれた年長児さんと、この日でお別れです。楽しい思い出をたくさん心に刻んで、新しい学年や小学校への一歩を踏みだしてほしいと思います。

最後になりますが、今まで子どもたちが無事健康に過ごせたのも、保護者の皆様の温かいご協力があったのことに感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。



◇楽しい年度末・年度初めにするために◇

3月の後半になると、きょうだい春休みに入ることもあり、園を休むお友達が増えます。そこで、次のことには十分気を付けてください。

- 道路への飛び出しに十分気をつけましょう。(子どもたちの事故件数の第1位は何といても「飛び出し」です。)
- 水を触りたくなる季節です。近寄らせないように気をつけましょう。(水が温み子どもたちは触りたくなります。)
- 生活リズムを崩さないように気をつけましょう。(今まで身に付けた生活リズムをいったん崩すと、元に戻すにはたくさん時間を要します。)

園長から

わたしは3年前に蒲生てんてんこども園に来ました。この園に来た理由は、ズバリ蒲生という土地柄でした。蒲生は今、日本が失いつつある昔のよさがあります。原風景はもちろんのことですが、何といても地域力が充実し、小さなコンパクトシティと言えます。

蒲生の子どもたちは素直で、純朴で、わたしはよくたとえに出しますが、「昭和の子」という表現がピッタリです。わたしは、そんな子どもたちに囲まれて仕事ができることに喜びを感じております。また、保護者の皆様もよい方ばかりで、御理解並びに御協力いただける環境がありがたいです。

蒲生てんてんこども園は、「保育の質向上」2年目に入ります。態勢づくりはできたと考えます。子どもたちはもちろん、先生方にとっても充実した1年となるよう、園長としてできることはすべて行う覚悟をもって取り組みます。

これからも、あるがままに生き抜くための「人間力」を育むために、「あせらず くらべず あきらめず」を園訓として、精一杯頑張ります。

